

## 総務委員会会議録（要点筆記）

平成26年7月14日（月）

午前10時40分 開会

### ○山田清一委員長

ただいまより総務委員会を開会いたします。

協議題1、閉会中の調査事項について、を議題とします。視察先について、委員の皆さまから意見を募ってまいりました。中村委員から意見をいただきましたので紹介させていただきます。中村委員からは、宮城県亙理町、山元町、そしてまた消防行政を一部事務組合で行っている東北地方の人口10万人程度の市ということで、ご提案がありました。前回の委員会でも中村委員から被災地というお話がありまして、委員長としてもこの案で行けたらと思います。実体験を踏まえた被災後の対応について学んでいけたらと考えています。そしてちょうど一昨日、震度4の地震があったときに、避難の呼びかけがあったのですが、実際に避難された方が非常に少なかったということが報道されておりました。そうした点も踏まえて、学ぶべき点は数多くあるんだろうと思っております。中村委員からもお話していただきたいと思えます。

### ○中村宗雄委員

提案というのか、前回の委員会での皆さんの話をまとめた程度なんですけど、僕にしてみれば伊勢湾台風の経験をしていませんし、大きな地震を経験したこともありません。テレビや新聞で見てみたり、あと、ボランティアで手伝いに行ったくらいで、全て事の済んだ後の話を少し掻い摘んだことのある程度の経験の中で、この防災・減災のことについて語るには、あまりにも知らない者同士が話をしても、良いものはできないのかなと思う中で、実際に被災された所に行ってみて、そこで何が一体どう変わったのか、そしてどう変わったかの後にそれが時間の経過とともにどう変わってきたのか、というところまでを踏まえて、新しい半田の防災・減災を考えていかないと、全て絵に描いた餅で終わってしまうのではないかと思っています。あと、いざとなった時に一番頼りになるであろう消防を事務組合で持っている自治体が震災の発災前と発災後で事務組合と自治体との関係はどうなったのか。要するに事務組合が持っている消防の中に災対を置くようなことになったのか、やっぱりそんなことは実際的に機能しなくて各首長のマネジメントでやるべきなのか、とか、そういうことも興味の対象でありますので、できれば半田と同じように山間部もあって沿岸部もあって、人口が10万人程度であって事務組合で消防を持っているようなところに行っているいろんなお話が聞きたい、そういう考え方があります。

### ○山田清一委員長

しばらく休憩します。

午前10時45分 休憩

午前10時46分 再開

### ○山田清一委員長

それでは、会議を再開します。

視察先、行程につきましては、山元町、石巻市、これについては相手方から返答待ちという形ではございますが、被災地を中心に考えてまいります。具体的な視察先については、正

副委員長と当局で調整の上、決定したいと思いますが、ご一任いただけますか。

【「異議なし」との声あり】

○山田清一委員長

ありがとうございます。それでは、つづきまして視察前・視察後の委員会の日程調整をさせていただきますと思います。しばらく休憩します。

午前10時47分 休憩

午前10時54分 再開

○山田清一委員長

それでは、会議を再開します。視察前の委員会については、10月3日（金）13時30分から、視察後の委員会については、10月22日（水）9時30分から実施することになります。視察後のレポートの提出は、10月16日（木）17時までということをお願いいたします。

つづきまして、協議第3「その他」について行います。決算審査資料の請求につきまして、追加で請求する場合は、7月25日（金）までに事務局まで連絡をお願いします。

他に何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

○山田清一委員長

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会します。

午前10時56分 閉会